

尾瀬森林環境学習

平成22年7月14日（水）～15日（木）



大江湿原にて植物の学習



大江湿原にて（あいさつ）



燧ヶ岳をバックに
（尾瀬沼ビジターセンターにて）

平成22年度森林環境学習交付金事業指定（郡山教育委員会）を受け、平成22年7月14日（水）～15日（木）の1泊2日で、檜枝岐・尾瀬学習をしました。特に尾瀬沼周辺では、貴重な自然を堪能してきました。郡山市から15万円の助成があり、交通費や図鑑などの資料代として活用できました。個人負担は、主に民宿の宿泊代等です。それも尾瀬檜枝岐温泉観光協会から、個人へ1,000円の補助があります。

第1日目（7月14日） 8：10～出発

雨予報の1泊2日の天候を心配しながら、出発式を行いました。おそろいのバンダナをそれぞれ首に巻き、意気揚々とバスに乗り込みました。曇りの天候。



【出発式の様子】



【御館中学校前からバスで】

6学年の行事として、指導員2名、教師3名が引率しました。計26名で尾瀬に向かいました。

バスは、栃山神～須賀川空港道路～矢吹～新甲子道路～田島～檜枝岐へ。

終始、天候を心配しての移動でした。

途中、雨が降り始めましたが、徐々に止みはじめ、民宿吉田屋さんに着いたとき（11：20）には、曇り空でした。吉田屋さんに大ききな荷物を置いていただき、また、バスで移動、中土合公園に着きました。



【下郷みちの駅でトイレ休憩 9：35】



【途中、スノーシェルターが多く見られました。】

※約3時間20分のバスの移動でした。

第1日目の活動①：イワナつかみ（檜枝岐中土合公園）

活動前に既に雨は止んでいて、絶好の活動日和となりました。川の一部をせき止めた川での「イワナつかみ」でした。川の水が非常に冷たく、長い間足を入れておくことが苦痛でした。それでも、子どもたちは、「冷たい！冷たい！」と大はしゃぎでした。



【係の方へあいさつ】



【川を一部せき止めての活動 50頭以上放しました】



【思い思いの方法でイワナをつかむ子どもたちの様子】

※おしりを濡らしながらも、一人5匹捕まえた児童もいました。最初は、全然つかめませんでしたが、だんだん、慣れてくると至る所から歓声が聞こえる様になりました。



【イワナを捕まえた子どもたち：手にはしっかりとイワナが！】

第1日目の活動②：イワナさばきと試食（昼食）

※イワナをつかむだけでは、単なる遊びになってしまいます。イワナの命をいただく体験が必要です。そこで、イワナを自分でさばいて、食べる活動が待っていました。



【係のお姉さんから手ほどき】

【女子も最初はキャーキャー言っていました】



※最後に串打ちをして、各自、たき火の場所で焼いていただきました。女子も全員、大変上手にイワナをさばきました。





【焼けるのが待ち遠しい！】



【自分で採り、さばいたイワナは格別な味です。】



【みんなあっという間に食べてしまいました。】



【おかわりもありました】

※昼食もここで取りました。

第1日目の活動③ 檜枝岐村の歴史学習会

※昼食後、近くの施設で、檜枝岐村歴史学習会を行いました。お話とオリエンテーションでした。



【歴史学習会の場所の様子】



【歴史学習会の様子】

※いろいろなことを学習しました。

- ①日本一薄い人口密度
1.6人/km²
- ②田んぼがない
米は購入する。
- ③主な産業は、観光。
- ④村の標高＝939m
- ⑤東北一の高山：燧ヶ岳
＝2,356m

※30分程度の歴史学習会の後、村内オリエンテーションに出かけました。



【檜枝岐歌舞伎の舞殿（もーでん）】



【舞殿を囲む観客席？】

※260年の伝統があるそうです。

○ 村内の史跡等



【橋場のばんば：縁結び・縁切りの神様】



【六地藏：悲しいお話】



【釘や柱を全く使わない「板倉」文化財】



【歴史民族資料館見学】

※ 村内を約1時間、歩き回り、課題を協力して解決しました。17:00終了。

《閑話休題》

村内を子どもたちを歩いていた時、大変おもしろい光景を撮影できました。モンシロチョウの繁殖行為です。モンシロチョウのメスは、一度雄と交尾すると、二度と他のオスと交尾することがありません。その光景をデジカメで撮影できました。

①



②



③



①：交尾済みのメスは尾を高く上げ、交尾拒否行動をとります。

②：オスのモンシロチョウが近づいてきました。

③：オスが交尾しようとしても、尾を高く上げ、拒否をします。



※ 檜枝岐の道路のわきには、墓場が多く、野仏もたくさん立っています。何となく、不思議な光景でした。

第1日目の活動④ 夕食 18:30～

※今回のメインイベント！夕食での「ハコネサンショウウオ」食体験です。

特別に注文した15センチのハコネサンショウウオの天ぷらです。天ぷらにしても、4本の足や尻尾の形がはっきり分かります。中には、卵をもったメスを食べた児童もいました。「おいしかったです!？」と子どもの感想でした。檜枝岐の郷土料理に満足したようです。



【サンショウウオの天ぷら】 【夕食の内容：蕎麦やはっとう】 【たくさん食べました】



【吉田屋の平野さんへ挨拶】

【サンショウウオを食べる女子】



【サンショウウオは、淡泊な味でした。どの児童も残さずに食べてしまいました。】



【 サンショウウオを食べる男子 】

※夕食をととても楽しみにしていました。昨年度は、サンショウウオの燻製で形がそのまま出ましたが、今回は、形は大きく長さも長かったのですが、衣である程度コーティングされていたので、普通の天ぷらの感覚で食べることができました。よい経験でした。

【夕ご飯の量がかなり多かったなので、完食した児童は数名でした。】

第1日目の活動⑤ 18:30～ ナイトハイク

※夕ご飯をすませ、入浴をしてから、雨が強く降り出しました。それでも、夜のナイトハイクに出かけました。大人の悪だくみ（きも試し）を知らずに、子どもたちは、傘をさして、夜の檜枝岐村に消えていきました。

檜枝岐歌舞伎の舞殿では、「火の玉」や怪物のお面をかぶった、お化けが待ちかまえていました。



【悪だくみをする大人たち】



【何も知らずに、楽しく散歩する子どもたち】



【舞殿についた子どもたち、この後、絶叫が！】【みんなで記念写真を！この後火の玉を目撃する。】



第1日目の活動終了



【旅行気分での部屋の過ごし方でした。終始笑い声が…】



【班長会議の様子】

閑話休題



【班ごとに絵馬を供えました】



【夕飯を茶碗に分けてくれたのは、男子児童でした】

第2日目（7月15日）

朝から雨が激しく降っていました。「やはり、今日の尾瀬沼周辺の散策は、雨の中で」と覚悟しました。朝食後、大きな荷物は、吉田屋さんに置いていただき、ナップザックにお弁当と水などを入れ、民宿を立ちました。



【朝食の世話も男子児童が行いました。】



【朝食の様子】

第2日目の活動① 沼山峠の駐車場までの移動

尾瀬の入り口である沼山峠駐車場へは、御池駐車場からのシャトルバスでしか、行くことができません。

ちょうど、民宿吉田屋さんの目の前から路線バスが出ていました。このバスが、御池駐車場で一端停車して、シャトルバスに変わり、他のお客さんを乗せ、沼山峠の駐車場まで、乗せてくれました。



【檜枝岐から路線バスに乗る子どもたち】



【御池駐車場で他の客を乗せる】



【沼山峠駐車場で記念写真】



※午前9：00、この段階で、雨が再び降り始めました。全員雨具を装備して、沼山峠展望台を目指しました。大江湿原到着、約1時間30分に設定して、ゆっくり行くことにしました。

第2日目の活動② 大江湿原を目指して

森の中では、雨の影響も少なく、いろいろな植物の名前を教えてくださいながら、進みました。吉田屋のご主人の平野さんが、ガイドをしてくれました。



【沼山峠展望台を目指しながら、いろいろな植物が生育していました。】



【ダイセンヤマナメクジ】
沼山峠展望台到着



【ギンリョウソウ】



【ゴゼンタチバナ】



【2010年 7月15日】

今回の学習で、展望台から撮影した大江湿原・尾瀬沼方向



【1977年 8月1日】

わたしが、学生の時、同じ場所から撮影したちょうど31年前の写真

※木が大きく育ち、大江湿原や尾瀬沼が見えにくくなっていました。尾瀬は、将来全てが木々で覆われ、尾瀬沼も湿原も全てがなくなり、森になってしまいます。湿性遷移の途中の姿が現在の尾瀬の姿です。それは、自然の法則で仕方ありません。しかし、人間の影響で湿原が荒らされるのだけは、避けなければなりません。



子どもたちは、この展望台から、尾瀬沼の様子をデジカメで撮ったり、双眼鏡でながめたりしていました。

この頃になると、すっかり雨は止みました。雨具を脱ぎ身軽になりました。

第2日目の活動③ 大江湿原観察

沼山峠からは下り坂が続きました。急に視界が開けると、広大な湿原が眼下に広がります、大江湿原です。天候も良くなりました。



【大江湿原入り口にて】



【さっそく、植物の観察を】



【ニホンジカの荒らした跡】



【どんどん広大な湿原を進む】



【植物をデジカメで撮影】



【ニッコウキスゲと記念写真】



【挨拶もさわやかに】



【大江川には、ギンブナがたくさん泳いでいました】



※尾瀬のライブカメラの中継ポイントで、みんなで映りました。

11時15分に日本全国にインターネットに配信？



運良く、燧ヶ岳の頂上から雲が消えました。記念撮影。



【ニッコウキスゲの中を】

※天候もよく、日も照りました。いろいろな高山植物を間近で観察できました。

この大江湿原観察が今回の最も大切な学習でしたので、大成功でした。

第2日目の活動④ 昼食後の自由時間



【お弁当の時間】



【巨大なミズバショウの葉】



【尾瀬沼と燧ヶ岳の2ショット】



【福島県と群馬県との県境にて】

※この橋の下の沢を境に後方が福島県、前方が群馬県です。
子どもたちは、福島県と群馬県を行ったり来たりして、喜んでいました。



【ヒメサユリの花】

第2日目の活動⑤ 帰り



【大江湿原を後にする】



【沼山峠駐車場到着】



【帰りのバスに乗り、御池へ】

※時間によっては、日も照るほどの天候に恵まれ、尾瀬の湿原を体験・観察できました。大江湿原いっぱいにひろがるワタスゲの白とニッコウキスゲの黄色が大変美しい大江湿原でした。子どもたちに体験してほしい全てが計画通りにできたこと大変嬉しく思いました。

※1泊2日の活動を通して、6学年の思い出と団結力がさらに増したと思います。

※また、子どもたちが大人になった時、家族や友だちと再び訪れて欲しいと思います。

e n d



○尾瀬から戻り、民宿吉田屋さんにお礼を言い、檜枝岐村から、お別れしました。

バスで、御館小学校到着が18:45になってしまいました。

閑話休題

湿原の中には、ひっそりといろいろな高山植物が咲いていました。



【ツルケモモ】



【ハクサンチドリ】多



【タテヤマリンドウ】多



【コバイケイソウ】



【ナガバノモウセンゴケ】



【コバノトンボソウ】



【サワラン】

ニッコウキスゲがまばらに生えている場所には、幸運にも可憐な高山植物がよく見えました。サワランやタテヤマリンドウが多かったようです。



【ワタスゲ】多



【オオヤマサギソウ】



【木道でウソが】